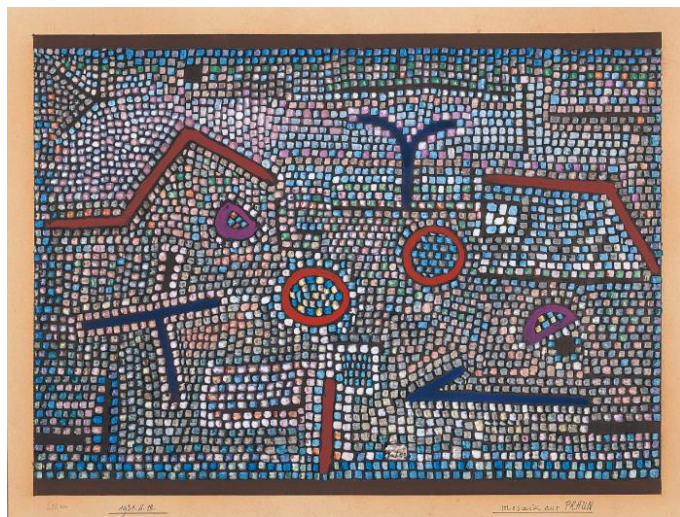


企画展のご案内

開館40周年記念 ほぼせんてんてん、

2025年8月30日（土）～9月28日（日）



1. パウル・クレア 《ブルンのモザイク》1931年、水彩・グアッシュ、紙

2025年、新潟市美術館は開館40周年を迎えます。また、8月30日には、およそ11ヵ月にわたる改修工事を終え、再開館いたします。その最初の展覧会では、当館にある作品・資料あわせて約1,000点を一挙公開。コレクションを代表する名品から当館の歴史を伝えるさまざまな「モノ」まで、多彩なテーマに沿って紹介いたします。

◆開催概要

展覧会名	開館40周年記念 ほぼせんてんてん、
会場	新潟市美術館
会期	2025年8月30日（土）～9月28日（日）[開催日28日間]
休館日	月曜日（ただし9月15日、9月22日は開館）
開館時間	午前9時30分～午後6時 ※ 観覧券の販売は午後5時30分まで
観覧料	一般700円（500円）、大・高校生500円（300円）、中学生以下無料 *（ ）内は、20名以上の団体、リピーター割引料金（本展覧会券の半券提示で本展2回目は団体料金に割引）・あっちも割（新潟市新津美術館観覧券提示で団体料金に割引、1回1名、1年間有効。なお、新潟市新津美術館は、2025年6月から2026年3月（予定）まで改修工事のため休館します。） *障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方、および一部の介助者は無料（受付でご提示ください）
主催	新潟市美術館

◆みどころ

過去最大規模の約 1,000 点一挙公開

約 1,000 点ものコレクション作品・資料を展示。ルドン、クレー、ピカソ、草間彌生といった著名な作家に加え、佐藤哲三、阿部展也、牛腸茂雄など新潟ゆかりの作家の作品も多数並びます。

また、開館以来伝わる家具、備品、改修工事で取り外された建物のカケラなど、普段の展覧会では取り上げられない「モノ」に焦点を当てたテーマも登場します。

◆テーマの一部をご紹介します

雨音の聞こえる部屋

雨の日の展示室。耳を澄ますと、雨水の流れる音が聞こえる一角があるのをご存じでしょうか。壁の向こうにある配管がその正体なのですが、温湿度管理の厳しいこの部屋で雨を感じるのは不思議なものです。そんな場に合わせて、雨の気配をまとう作品を展示します。

水平線と海

日本海までおよそ 350m、徒歩 10 分ほどで海岸に出られる場所に、新潟市美術館は位置しています。水平線を見張らすように海の作品を並べ、季節や時間、捉えた作家の目によっても異なる、さまざまな海の表情をご覧ください。

前川國男の断片

建築とは、無数のディテールの複雑なアレンジメントであると言えます。1985 年の開館当初から伝わる什器・備品、そして今回の改修工事で取り外され、今後資料として保管される建物の部材・部品などを展示。前川國男という建築家の、そして当館の歴史のディテールを観察します。

その他の展示テーマは、会場での楽しみ。



2. オディロン・ルドン
《丸い光の中の子供》
1900 年頃、パステル、紙



3. 小山正太郎《テルテルボウズ》
制作年不詳、水彩・鉛筆、紙



4. 石川直樹
《潟と里山 新潟市西蒲区 角海浜 マクリダシ》2017 年（撮影 2015 年）、
タイプ C プリント



5. ヴァーナー・パントン
《「パンテラ」ランプ》
1971 年（オリジナル）、撮影：今井智己

◆広報用画像



6. アリスティード・マイヨール
《ディナの頭部》1943年
ブロンズ



7. ピエール・ボナール
《浴室の裸婦》1907年
油彩、カンバス



8. 佐藤哲三
《原野》1951年
油彩、カンバス



9. 新潟市美術館 空撮写真

※プレスリリースに掲載されている画像は、すべてご使用いただけます。希望される作品の番号をお伝えください。

※キャプションは、作者名・作品名・新潟市美術館蔵を必ず明記してください。難しい場合はご相談ください。

※トリミングおよび文字載せはご遠慮ください。

◆関連イベント

1 ミニコンサート

演奏：廣川抄子（ヴァイオリン）、金子由香利（フルート/ピッコロ）、斉藤晴海（ピアノ）

日時：8月30日（土） 午後1時50分～午後2時10分/午後4時～午後4時20分

会場：エントランスホール

参加無料・申し込み不要

2 「前川國男と新潟市美術館 -生まれ故郷に残した遺作をめぐって-」

講師：松隈洋氏（神奈川大学教授、京都工芸繊維大学名誉教授）

日時：9月13日（土）

●レクチャー：午後1時30分～午後3時（午後1時受付開始）

事前申込制、定員80名、要当日観覧券

●建物ツアー：午後3時30分～午後4時30分（午後3時受付開始）

事前申込制、定員20名、要当日観覧券

会場：新潟市美術館 2F 講堂

申し込み方法：右記の二次元コードより必要事項を記入のうえ申し込み

締め切り：8月29日（金）午後5時（定員を超える応募の場合は抽選）

*講演会のみ、館内ツアーのみの応募も可能です。



3 学芸員による美術館見学ツアー

日時：9月27日（土）午後2時～午後2時30分

会場：新潟市美術館 館内

事前申込制、定員20名、要当日観覧券

申し込み方法：右記の二次元コードより必要事項を記入のうえ申し込み

締め切り：9月12日（金）午後5時（定員を超える応募の場合は抽選）



◆お問合せ先

新潟市美術館〔担当：塚野、菊地〕

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9

TEL:025-223-1622 FAX:025-228-3051 E-mail:museum@city.niigata.lg.jp

開館 40 周年記念 ほぼせんてんてん、

【取材・チケットプレゼント・記事掲載について】

次の 1～3 のいずれかをご希望の場合、以下の URL または二次元コードから WEB フォームでお申込ください。

- 1) 会期中の取材申し込み
- 2) 展示作品の図版掲載（プレスリリース掲載画像からお選びください）
- 3) 読者プレゼント用の招待券

【申し込みフォーム】

<https://docs.google.com/forms/d/1NhpMfI-QVVZSRo8HME436WknRheP-iEK6hq5vYJVzhg>

【二次元コード】



- ◆使用画像と基本情報の確認のため、掲載前の原稿や映像は、担当者まで必ずお送りください。
- ◆チケットプレゼントの提供は、本展をご紹介いただける場合のみとし、1 媒体につき 10 組 20 名様を上限として提供します。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載媒体は、必ず当館まで 1 部ご送付ください。
- ◆WEB 掲載の場合は、コピーガードの処理をかけてください。